



平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月24日

上場会社名 株式会社ヤガミ
コード番号 7488 URL <http://www.yagami-inc.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八神 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 拮石 研自

TEL 052-951-9252

四半期報告書提出予定日 平成23年12月1日

配当支払開始予定日

平成24年1月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績(平成23年4月21日～平成23年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	3,416	△3.4	307	△14.5	341	△11.3	195	△9.1
23年4月期第2四半期	3,534	8.8	359	39.5	385	36.8	214	30.6

(注) 包括利益 24年4月期第2四半期 199百万円 (△5.6%) 23年4月期第2四半期 211百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第2四半期	31.25	—
23年4月期第2四半期	32.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年4月期第2四半期	10,478	7,369	68.1	1,142.39
23年4月期	10,545	7,207	66.2	1,117.13

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 7,135百万円 23年4月期 6,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年4月期	—	6.00			
24年4月期(予想)			—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年4月21日～平成24年4月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	4.0	820	2.8	880	3.3	490	2.6	78.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期2Q	6,801,760 株	23年4月期	6,801,760 株
24年4月期2Q	556,005 株	23年4月期	556,005 株
24年4月期2Q	6,245,755 株	23年4月期2Q	6,515,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災による供給制約が解消に向かうなか回復基調にあるものの、海外金融市場の混乱による世界経済の下振れや円高の進行による輸出の伸び悩み、原発停止による電力供給の制約など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、前期末から期初にかけてのエレクトロニクス・電子素材の好調により、産業用機器が伸長しましたが、東日本大震災への緊急対応により、政府の当初予算執行が順調になく、学校校舎耐震化予算の執行が遅れ、理科学機器設備の販売が低調に推移しました。

この結果、当四半期の業績は、売上高34億16百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益3億7百万円（同14.5%減）、経常利益3億41百万円（同11.3%減）、四半期純利益1億95百万円（同9.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

理科学機器設備

アジア市場に対する滅菌器の販売が好調だったものの、学校校舎耐震化予算執行の遅れから実習台や収納戸棚類の需要が落ち込み、売上高は18億17百万円（前年同期比16.8%減）、セグメント利益は84百万円（同53.7%減）となりました。

保健医科機器

保健設備品の需要増加及び東日本大震災の復興需要に伴うAEDの供給により、売上高は9億3百万円（同13.5%増）、セグメント利益は1億49百万円（同11.0%増）となりました。

産業用機器

エレクトロニクス関連需要や素材産業の設備投資により、保温・加熱用電気ヒーターや環境試験装置の販売が国内及びアジア向けに大きく伸長し、売上高は6億94百万円（同25.6%増）、セグメント利益は1億6百万円（同54.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は104億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて67百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少等により、流動資産が1億15百万円、減価償却等により、有形固定資産、無形固定資産が62百万円減少した一方、投資その他の資産が1億10百万円増加したことによるものであります。負債は31億8百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億29百万円減少しました。これは主に、買掛金の減少等により、流動負債が2億38百万円減少した一方、退職給付引当金の増加等により固定負債が9百万円増加したことによるものであります。純資産は73億69百万円となり、自己資本比率は68.1%となりました。

また当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ6億53百万円増加し、12億99百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益3億42百万円、売上債権の減少による収入4億45百万円、仕入債務の減少による支出2億42百万円等により5億46百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は、定期預金の預入と払戻の純額での収入13億90百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出20億39百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入8億13百万円等により1億46百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、社債の償還による支出10百万円、配当金の支払額37百万円により47百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月期の通期業績予想につきましては、平成23年5月27日に公表した業績予想に変更ございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、当連結会計年度に係る年間の減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

3. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,254,947	1,410,036
受取手形及び売掛金	2,302,718	1,860,135
有価証券	669,739	1,896,018
商品及び製品	761,820	799,043
仕掛品	68,274	95,302
原材料及び貯蔵品	249,625	260,407
繰延税金資産	98,597	82,100
その他	156,794	43,419
貸倒引当金	△4,651	△4,260
流動資産合計	6,557,867	6,442,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	900,282	879,642
土地	1,850,525	1,850,525
その他（純額）	106,581	85,755
有形固定資産合計	2,857,388	2,815,923
無形固定資産		
ソフトウェア	159,175	138,325
その他	4,555	4,492
無形固定資産合計	163,730	142,818
投資その他の資産		
長期預金	—	100,000
投資有価証券	617,195	619,036
繰延税金資産	173,246	178,970
その他	179,732	183,837
貸倒引当金	△3,741	△4,672
投資その他の資産合計	966,433	1,077,172
固定資産合計	3,987,551	4,035,913
資産合計	10,545,419	10,478,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,804,910	1,569,608
短期借入金	80,000	80,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	102,306	72,181
未払法人税等	46,136	140,622
賞与引当金	166,457	106,970
その他	137,975	130,228
流動負債合計	2,357,786	2,119,612
固定負債		
社債	30,000	20,000
繰延税金負債	143,465	138,567
退職給付引当金	248,068	259,542
役員退職慰労引当金	286,195	296,991
その他	272,096	273,743
固定負債合計	979,825	988,844
負債合計	3,337,611	3,108,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,299	787,299
資本剰余金	676,811	676,811
利益剰余金	5,811,928	5,969,640
自己株式	△312,923	△312,923
株主資本合計	6,963,115	7,120,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,213	14,277
その他の包括利益累計額合計	14,213	14,277
少数株主持分	230,477	234,554
純資産合計	7,207,807	7,369,660
負債純資産合計	10,545,419	10,478,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月21日 至平成23年10月20日)
売上高	3,534,628	3,416,095
売上原価	2,168,798	2,103,323
売上総利益	1,365,830	1,312,772
販売費及び一般管理費	1,005,939	1,004,907
営業利益	359,890	307,864
営業外収益		
受取利息	2,963	1,584
有価証券利息	3,250	3,864
受取配当金	1,713	2,316
不動産賃貸料	32,809	37,822
その他	2,209	6,184
営業外収益合計	42,945	51,772
営業外費用		
支払利息	1,185	784
社債利息	210	144
不動産賃貸費用	14,464	15,503
その他	1,322	1,281
営業外費用合計	17,183	17,713
経常利益	385,652	341,923
特別利益		
投資有価証券売却益	—	351
貸倒引当金戻入額	1,303	—
特別利益合計	1,303	351
特別損失		
固定資産除却損	25	—
投資有価証券評価損	10,769	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,241	—
特別損失合計	18,036	—
税金等調整前四半期純利益	368,919	342,274
法人税、住民税及び事業税	46,962	137,178
法人税等調整額	104,672	5,831
法人税等合計	151,634	143,010
少数株主損益調整前四半期純利益	217,285	199,264
少数株主利益	2,517	4,076
四半期純利益	214,767	195,187

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月21日 至平成23年10月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	217,285	199,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,191	63
その他の包括利益合計	△6,191	63
四半期包括利益	211,093	199,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,575	195,250
少数株主に係る四半期包括利益	2,517	4,076

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月21日 至平成23年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	368,919	342,274
減価償却費	63,378	74,290
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,712	11,474
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△22,948	10,795
賞与引当金の増減額(△は減少)	△147,143	△59,486
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,303	540
受取利息及び受取配当金	△7,926	△7,765
支払利息	1,396	928
投資有価証券評価損益(△は益)	10,769	△351
売上債権の増減額(△は増加)	1,273,442	445,731
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,571	△75,032
仕入債務の増減額(△は減少)	△665,807	△242,870
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,241	—
その他	△121,699	△22,029
小計	763,603	478,499
利息及び配当金の受取額	8,514	5,965
利息の支払額	△1,241	△794
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△550,189	62,417
営業活動によるキャッシュ・フロー	220,686	546,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,101,000	△1,711,000
定期預金の払戻による収入	3,101,000	3,101,000
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△764,467	△2,039,298
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	612,558	813,642
有形固定資産の取得による支出	△10,277	△6,998
無形固定資産の取得による支出	△26,550	△7,161
長期貸付金の回収による収入	500	500
保険積立金の積立による支出	△3,430	△3,430
その他	8,348	△680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,318	146,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△272,688	—
配当金の支払額	△80,899	△37,523
財務活動によるキャッシュ・フロー	△363,587	△47,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△326,250	645,088
現金及び現金同等物の期首残高	1,075,783	653,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	749,533	1,299,036

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	理科学 機器設備	保健医科機器	産業用機器	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	2,185,436	796,250	552,940	3,534,628	—	3,534,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,185,436	796,250	552,940	3,534,628	—	3,534,628
セグメント利益	182,779	134,722	68,717	386,220	△567	385,652

(注) 1 セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	理科学 機器設備	保健医科機器	産業用機器	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,817,583	903,994	694,517	3,416,095	—	3,416,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,817,583	903,994	694,517	3,416,095	—	3,416,095
セグメント利益	84,688	149,495	106,260	340,443	1,479	341,923

(注) 1 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しないものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。